

大きい、怖い

都心上空を低空飛行する

羽田新ルートに 驚き、不安、怒り続々



都庁上空を飛行する
旅客機

詳しくは日本共産党
東京都委員会の
特集ページで★
★動画もあります



実際に飛行機が飛んで、問題点ハッキリ

騒音

ごう音ひっきりなし「空がなり続ける」
都内最大 86デシベル(地下鉄車内超える)

試験飛行では右図のように空港から離れた場所でも最大70デシベル(主要幹線道路沿いの騒音)以上、空港に近い区では80デシベル(地下鉄車内やゲームセンター店内)を超えました。これまでの国の説明と大違いの騒音です。騒音が30秒続く場所も多く、まさに「空がひっきりなしに鳴っている」状態。住民からは「このごう音が毎日続くなんで耐えられない」など悲鳴が寄せられています。

威圧感

車輪が見える、ビルに当たりそう

ごう音とともに住民が驚いたのは、「機影が大きすぎる、怖い」という威圧感。「こんな低く飛ぶとは思わなかった」、「ボールを投げたら当たるのではないか」、「この機影を毎日見ると精神的にまいってしまう」との声も…。

危険性

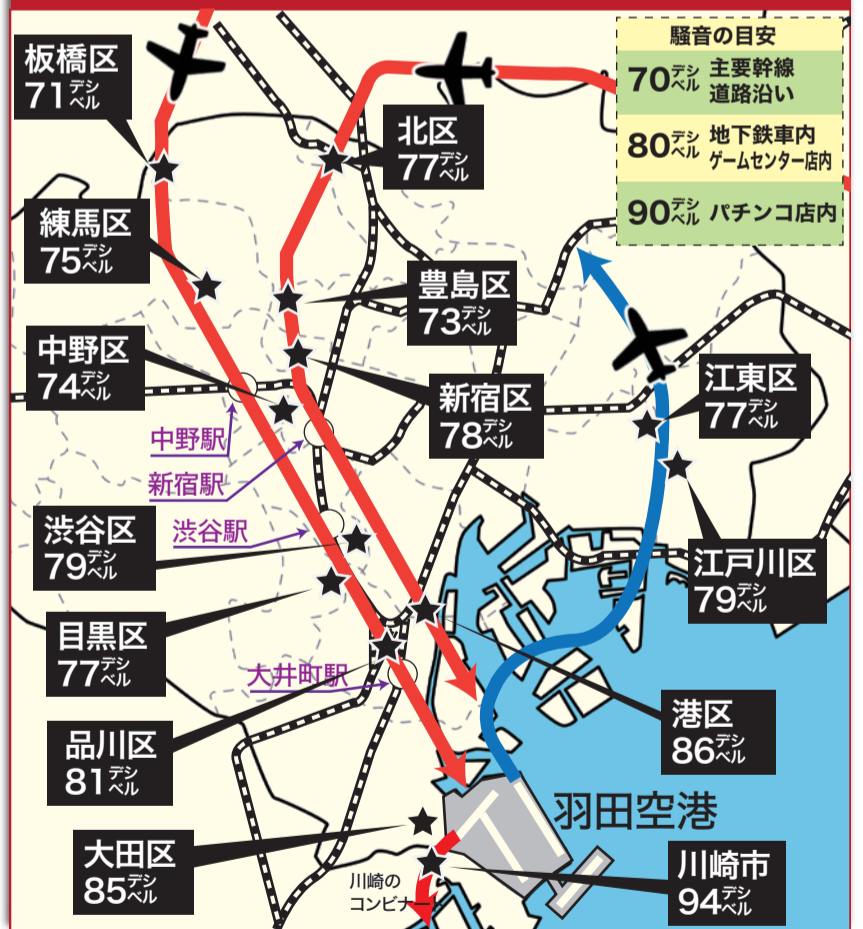
新聞も「世界一着陸難しい空港に」
国際航空協会が「急角度 変更を」と危険性指摘

「急角度での着陸」に国際航空運送協会が危険性を指摘したことなど、新ルートの危険な問題点を各紙も相次いで報道する異例の事態です。



各紙も新ルートの問題点を報道

試験飛行での 羽田新ルートと騒音最大値



※国土交通省東京航空局の測定結果より。ただし港区は東京都の測定結果。

都心超 低空飛行は中止を



ご連絡・ご要望は03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2020年4・5月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階)1965年11月12日第三種郵便認可



日本共産党 新ルートの問題は他にも
ウラ面をご覧ください

羽田
新ルート

落下物^{など}事故の危険も重大

事故が起きたらとりかえしがつきません

「世界に類を見ない落下物対策がとられた」と言うが
落下物の原因となりうる**部品欠落は逆に増えている**

直近の1年間
18年11月～19年10月

728個

その前の1年間
17年11月～18年10月

452個

国内で報告された
部品欠落の総個数

左図のように落下物事故の原因となりうる飛行機の部品欠落は、直近1年で毎日2個起きています。離着陸時に多く起こるとされる落下物事故を避ける一番の対策は、「発着ルートは都心や住宅密集地を避ける」こと。東京湾を使ったこれまでのルートに戻すべきです。

「ハードランディングが増加、パイロットの国際団体が懸念

国際定期航空操縦士協会連合会は、今年1月20日、羽田新ルートに対し「(着陸のさいの急な進入角度は)ほとんどのパイロットが経験したものと大きく異なる」、「ハードランディングの発生が増加する可能性がある」など懸念を示しました。

ところが
ご覧ください

小池知事の姿勢は…

住民の反対で窮地におちいった

3月の都議会での共産党都議団の追及で、下の流れ図のように小池都知事の果たした役割がすっかり明らかになりました。



▲都議会の予算特別委員会(3月9日)で

国に、強行けしかける

国

新ルートに
住民の理解
得られず

品川や渋谷の区議会で
全会一致で「見直し」な
どの決議まであがる

都

「国の対策
評価する」
「着実に進めよ」

小池知事の下承を受け
副知事が国に進言する
(2019年8月7日)

国

「地元の理解
得た」と
ルート決定

翌日の8月8日に
国は「対策が評価され、
予定通り開始を求めら
れた」として正式に決定

今からでも
中止
させよう

日本共産党

東京には飛行ルートを 変えさせた 歴史があります

かつて陸上にルートが設定され都民を悩ませていた羽田の飛行機騒音、そして様々な危険。「騒音をなくそう」、「ルートを変えて」と立ち上がった住民の粘り強い運動によって、東京湾上空を飛ぶルートに切り替えさせてきたのです。

都内各地に運動が広がる

試験飛行を体験した住民のみなさんが、その異常さに驚き、急速に運動が広がっています。これまで新ルートの見直しを求める運動を続けてきた区に加え、新たな区でも運動が進んで、今や新ルートの影響を受ける場所のほとんどで、住民運動が取り組まれています。



▲品川区で取り組まれている住民投票求める運動



▲マンションの屋上で、港区の住民から話を聞く(左から)吉良よし子参院議員、(一人おいて)笠井亮衆院議員、山添拓参院議員。

「五輪」を理由にしますが
五輪後も続く計画です。

「経済成長のために増便が必要」と言いますが
命や健康を犠牲にした「経済成長・増便」は本末転倒です。

強行する安倍政権と小池都政にノーの審判を